## 腐女子な彼女たち

橘高 有紀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト http://pdfnovels.net/

## 注意事項

は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ 囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範 テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。 この小説の著作権は小説の作者にあります。 このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ 小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。 そのため、作者また

【小説タイトル】

腐女子な彼女たち

、 スラナア ア

N 6 4 3 S

【作者名】

橘高 有紀

【あらすじ】

だから、 なんで俺が、 彼女の前で男を押し倒さねばならんのだ!

恐怖の時間だった。

たはずなのに、猛烈な苦痛を味わった。 彼女と、友達とその彼女の四人で過ごした時間はそう長くなかっ 主に精神面で。

は ίį ありがとう。 次のポーズはねぇ、 こんな感じでお願いしま

見せられた絵は、 ベッドで相手の足を持ち上げて身体を密着させ

るという、とんでもないものだった。堪忍袋の緒が切れた。 何なんだよこれは! お前ら俺に何やらせたいんだ!?」

広くもないマンションの一室で、真昼間から怒声が響いた。

いいから」 別に本気でやってくれなんて言ってないよぉ。上は服着たままで

だっつの!」 「さっきのキスシーン (もどき) だけでこっちはいっぱ 11 っぱ L١

見てもパッと見区別がつかないほど、二人は良く似ていた。 ほくろがある方が朱音で、俺の彼女だ。 えええー、と唇を尖らせる双子は、 朱音と葵衣だ。 彼氏の 口元に 俺から

るだけで独特の空気を醸し出す不思議な二人だった。 ゴスロリチックな服装を難なく着こなして、ちょこんと座ってい

とである。 それが、 自他共に認めるBL好きだと知ったのは、 つい先日のこ

がソレだなんて、 世の中にそういう女子がいると知っていたが、 想像つくだろうか。 まさか自分の彼女

しかも、やたら可愛い双子なのに!

サイトは、 正直ショックは隠せなかった。 促されるままに見た彼女らのウェ インデックスに素気ない警告文。 それを踏み越えて『

ENTER』の文字をクリックすると

ャラが、これまた男同士で絡み合っていた。 あれはエロ漫画だ。 け反る羽目になる。 さらに展示中の漫画では、見覚えのある版権キ トップページから半裸の男二人のイラストがばばーんとあって 俺の彼女は十八歳未満お断りな漫画を描いてい いや、ぶっちゃけよう。

ろしい。 そのサイトは、 一日で千を越えるヒット数を叩きだすのだから恐

inform u t . あまつさえ、 ationと書かれたページでは軒並み「 二人はそれらの漫画を本にして売ってい るという。 s 0 1 d

のオンリーイベント参加予定です!

×さんとの合同サークル名はこちら-

シャンクシャック ××さんとの ぎにす 〆切間に合わないよ\( ^ 0 ^

カッとなってやった。 も結構好きかも、と気付きましたw 後悔はしていない (・

やべえ www こっちにも浮気しそうw W W

というような俺には理解不能な(〆切云々は何となくわかるか)

単語が、ブログやツイッターに並んでいる。

確かに絵が上手い のは認めるが、 世の中いろいろ間違ってい

る

ガチホモなエロビデオでもなんでも勝手に観とけよ!」 「 そもそもポー ズを撮るだけなら俺と翔太でなくてい いだろが

「絶対嫌。 私たちのはボーイズラブなの! あんなガチムチじゃな

「というか、孝彦は見たことあるの? キッ ツイよあれ

まるところ、ファンタジーなのだと二人は口をそろえた。 ている訳ではなく、二人はあくまで妄想を楽しんでいるらしい。 予想外にブーイングのあらしだ。どうやら、 いことを考えるからこそ良い、 چ ゆえに漫画のキャラに萌える リアルでホモ推奨し 現実には つ

のだ、と。

じゃ、 朱音と葵衣ちゃ んの二人の写真を俺がとるっ て

私たちじゃ百合じゃない。 というよりもう撮ってるよ

おい、それ見せろよ。

でも体格差ないし、身体も違うし、 やっぱ楽しくないというか」

色んな角度で取りたいんだよね。 構図の資料が欲しいの」

......じゃあ、俺と朱音が」

冷たい視線が突き刺さった。

ですよねー。

「......孝彦はまだマシだろうが.....!」

翔太である。男のくせに女顔の奴は、 呪いのような低い声が、した。 葵衣の彼氏である被害者その二、 半裸になってうつむいていた。

まるで凌辱を受けたように いや、事実受けたようなものだ

震えている。狼の巣に放りこまれた羊のようだ。

しかしこの羊、やたら狼に従順だった。

す仕草を何度もパシャパシャ撮られていたのを思い出す。 えかも」という理解不能なオーダーに対応していた。 メガネをはず ら、訳がわからない。先ほども何故か「メガネかけてくれた方が萌 嫌なら嫌といえばいいのに、無茶苦茶な注文に応じているのだか

いかも。こっちの角度からも撮ってみよ」 「中指で真ん中のブリッジを押し上げてみて。そうそう、 ぁ 可愛

だよね!」 「メガネやっぱいいな~。普段メガネかけない人のメガネって萌え

.... なんでメガネーつでそこまで盛り上がれるのか。

出来るはずがない たのだった。こんなカオスなシチュを予想できるだろうか。 そもそも俺は、 朱音と葵衣で写真を撮るから来て欲しいと、 誘わ 否

受けとか攻めという訳わからんことも、 視力はいいのにメガネをかけた翔太は、 んか『受け』 指定だぞ! 文句言うなら変われ ギッとこちらをねめつけ、 今では何となく理解でき

るのが悲しすぎる。

ぜってえ嫌だ、そんな役。 か俺が『受け』 ってありえねえだ

「どういう基準で!

けど、俺と並んだら色白な翔太のほうが雰囲気も柔らかい。 ほうが小柄で女っぽいから。 女に間違われることは絶対ないだろう えーっと、と目線が泳いだ。キッパリはっきり言うなら、 翔太の

た。 ちら、と双子へ目を向けると、 二人はそっくりな微笑みをしてい

「萌えるから、かな~?」

たのしーっ」 「私的にはどっちでもいいよ。 一見攻めタイプが実は.....ってのも

「うーん、でもさ、私は受けに従順な攻めとかのほうがい

想像すると」

「あ、それもいいよね。 どうしよう、次はそれやろうか」

うんうん、と女同士、 話がはずんでいる。

聞きたくない聞きたくない、

聞きたくない

「 つー かなんでベッ ドシー ン!? お前ら彼氏にこんなことさせて

楽しいか!?」

愚問だった。

とっても楽しい

嫌がってるとことか、 特にイイかも」

し倒される。ちょ、待て待て待て!? 頭を抱えたくなった。 すると、がっちり腕を掴まれ、 馬乗りになった翔太は、 ベッドに押

翔太、 お前嫌なんじゃねーのかよ!?」 れた服装のまま俺の両手を抑えにかかる。

やりたくないけど、葵衣の頼みだから!

そこまでされてて葵衣ちゃん一筋なのってすげー

嫌なら嫌って言えよ!」

等と言いあう間にも、 どさくさ紛れにシャッター の音は聞こえて

りる。

が響いた。 もつれあって姿勢が逆転すると、 朱音と葵衣が、それぞれデジカメを構えて写真を撮っているのだ。 「きゃーっ」という喜びの悲鳴

孝彦はそのまま翔太くんにキスしてくれたら嬉しいかもっ 「あっあ、二人とも止まらないでもっとやっちゃってよぅ。 それで、

「するか馬鹿!」あとで覚えとけよ朱音」

から、服脱がせて欲しいんだけど!」 覚えておくから、翔太くんのメガネを孝彦が外してみて? それ

「はあ!? なんでそんなこと」

ンション。 凄んでみせてもまったくの効果なし。 いったい何なんだ、 このテ

かれ、ゾッとした。 線を巡らせたのがマズかった。 異様になって腰が引ける。 何とか逃げることはできないか、と視 翔太がのしかかってくる。 耳元で囁

「逃さないからな、孝彦」

翔太がいた。.....やべぇってこいつ、 たのである。 きゃあきゃ 死なばもろともというやつか!? あ叫ぶ双子たちをBGMに、 なんか洗脳されてねぇ!? 振り返ると、 こうして地獄の幕が開け にたりと壊れ た

詳しい内容は言いたくない。 頼むから思い出させないでくれ。

なり らく経ってのことだった。 - 、とほくほく顔で写真会の終了を告げられたのは、それからしば .....そう遠くない。 おつかれさまでーす。 ......俺にとっては恐ろしいことに漫画となって販売される日も イイ絵をたくさんありがとうございました その間の、あの濃厚な時間が双子の糧と

孝彦、 もう、 いつまでも拗ねてないでよ。 本が完成したら、 タダ

であげるから」

「いらん! 絶対いらん!」

うな、 やったのか、考えたくもない。 ゆるむと部屋の隅で膝を抱えたくなるのは何故なんだ。 自分の部屋に戻っても、深刻なダメージが回復していない。 えも言われぬ脱力感が、全身を支配していた。 エネルギーを大量に吸い取られたよ 自分が何を 気が

「たーかーひーこー。もう、機嫌直してよう」

隣に座った朱音がぷくっと頬を膨らませ、寄りかかってくる。

そんなこと言うならもう帰るけどいいの?(せっかく来たのにな) 可愛いキャミ着てきたのにな、と上着も脱いだ。

ちらりとそちらを窺うと、ふふ、と朱唇に笑みを乗せた朱音と目

があった。

あーあ、孝彦お疲れみたいだし、無理はさせらんないかなぁ 立ち上がろうとした彼女の細い手を掴む。

だって朱音、中身が腐ってさえなけりゃ、 中身さえアレじゃなかったら最高なのに。 翔太がさあ、葵衣ちゃんに逆らえないの、わかる気がするんだよ。 美人なんだから。

ぐいっと手を引くと、朱音は簡単に腕の中におさまった。

......ご褒美は、もらうにきまってる」

そして俺は男じゃなく、女をやっと押し倒す。

## (後書き)

ジ作品でした。 テーマは『腐女子or男の娘』。三十分小説の、コメディチャレン ここまで読んでくださってありがとうございました。

ご感想お待ちしてます!

## PDF小説ネット発足にあたっ

ビ対応 行し、 公開できるように 小説家になろうの子サイ 部を除きインター 最近では横書きの F小説ネッ の縦書き小説 の縦書き小説 います。 そん をイ を思う存分、 たのがこ な中、 ネッ 書籍も誕生しており、 タテ書き小説ネッ ト関連= 誰もが簡単にPDF形式 ネッ て誕生しました。 ト上で配布す 小説ネッ 横書きという考えが定着しよ てください。 トです。 既 は 2 0 存書籍 タイ いう目的の基 07年、 の電子出版 小説を作成 小説が流 ンター

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。 http://ncode.syosetu.com/n6433s/

腐女子な彼女たち

2011年4月23日00時40分発行